

日野市観光協会だより

創刊号（平成18年11月発行）

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



発刊にあたり

特定非営利活動法人 日野市観光協会

理事長 川 澄 祐 勝

日野市観光協会だより発刊にあたって理事長としてひとことご挨拶申し上げます。

昭和35年に設立された日野市観光協会は、長年に亘って日野市の観光開発に尽力してまいりましたが、お陰様で本年3月28日に長年の懸案でありました組織の法人化が認められ、平成18年度から「特定非営利活動法人日野市観光協会」として新たな一歩を踏み出した次第でございます。

これ偏に会員諸兄並びに日野市民の皆様方のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り日野市は市の北辺を多摩川が、中央部を浅川が流れ、南部は多摩丘陵が連なり、西部は多摩川・浅川の河岸段丘日野台が広がるなど、すこぶる変化に富んだ人間の住みやすい地形ですので、市内には旧石器時代や万葉時代からの遺跡が散在し、さらに平安後期の西党日奉氏系の諸氏族の活躍、鎌倉・室町期の高幡高麗氏の勢力伸長、戦国期の小田原北条氏の支配、江戸時代の甲州街道日野宿の繁栄、幕末の新選組の活躍等、それぞれの時代の特色あ

る歴史遺産が保存されています。

それ故市内には今なお数多くの史跡や史料が残されていますし、それらの伝統をふまえた特色のある祭りや由緒ある行事が受けつがれています。

このように古い歴史と観光資源に恵まれた日野市の観光は、今まで集客力のある観光施設の揃っている旧七生地区にかたよりがちでございましたが、今後は日野市の誇る史跡・史料・豊かな自然を生かした総合的な観光開発が急務と考えています。

幸なことに、日野市が「個性と魅力と活気あるまちづくり」をめざして審議中でございました日野市観光基本計画がまとまって本年三月答申され、間もなく実施段階に入ることになっております。加えて日野市が申請をしておりました東京都の観光アドバイザー派遣も決定しておりますので、これからは今までの日野市にはない様々な企画がもたらされるものと期待しております。

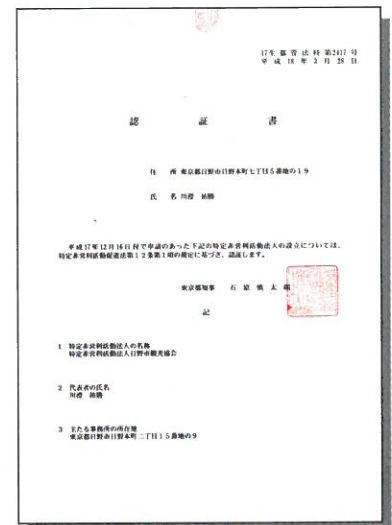
従来日野市観光協会では市内で行われる観光に関する様々な祭りや行事に係わりを持ってその振興に努力してまいりましたが、今後は更に組織を充実して新選組のふるさと日野の観光振興に邁進する所存でございますので皆様には更なるご協力・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人日野市観光協会 設立記念式典並びに祝賀会開催される



去る5月25日、特定非営利活動法人日野市観光協会の設立記念式典並びに祝賀会を高幡不動尊にて開催しました。

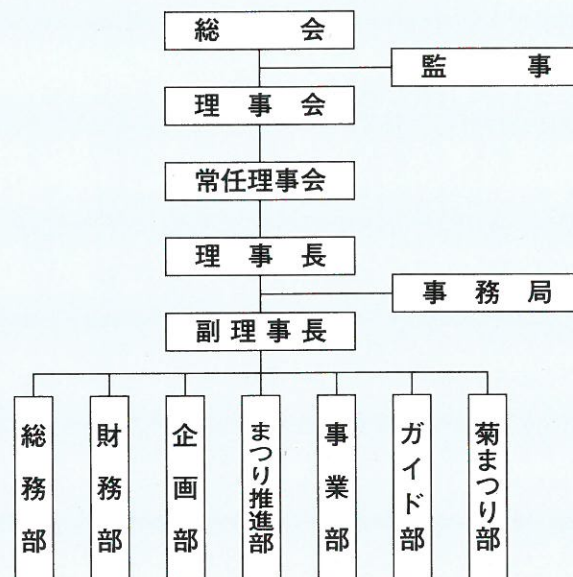
当日は、日野市長馬場弘融様を始め来賓のご臨席を賜わり合わせて多くの会員の出席により盛大に行われました。式典では川澄理事長より特定非営利活動法人取得の経緯、これからの日野市の観光の更なる発展に対する決意、日頃の皆様の協力にお礼等述べられ、続いて来賓代表の方々に祝辞を頂きました。また、歴代の会長、副会長の永年の功績に対し、感謝状が贈られました。ひきつづき行なわれた祝賀会は、市川監事の乾杯の音頭に始まり、来賓、会員の方々が観光協会の思い出、これからの日野の観光等の話題で大盛況に行なわれました。



特定非営利活動法人日野市観光協会 役員並び組織図

理事長	川澄祐勝
副理事長	亀田宇三郎
"	杉田純一
"	谷井正剛
"	寺田公普*
総務部長	滝瀬正幸
財務部長	武井素文
企画部長	岩田利夫
まつり推進部長	佐藤光弘
事業部長	中澤弘洋
ガイド部長	芹川孝一
菊まつり部長	大貫隆
監事	市川資忠
"	川嶋博
事務局長	宮越満

*平成18年9月1日迄は井上敏夫氏



日帰り研修に行ってきました



平成18年9月26日(火)午前8:00に40名を乗せ日野宿本陣を出発、第1目的地天竜川へ。救命具を付け、2艘に分かれ乗船。急流で波しぶきがズボンを濡らす場面もありましたが下船まで、天気は何とか持ってくれました。昼食後にはかつて信州の伊那谷と木曽路をつなぐ大平街道の宿場と栄えた伊那谷のミュージアムパークを見学、観光バスを呼び込む集

客力は我々も勉強しなくてはと皆真剣な顔。続いて観光農園では様々なリンゴが山と積まれ試食三昧。好みの味のリンゴが決まったところで雨の中りんご狩りへ。商売のうまさを日野の商店、農家も見習うところが沢山ありました。盛りだくさんの研修を終え無事帰ってきました。皆さんが研修の成果を実らせて下さることを期待いたします。(K)

第36回高幡不動尊菊まつり開催



今年で36回目を迎えた、恒例「高幡不動尊菊まつり」が10月28日から11月19日まで開催されました。

多摩地域11市の菊愛好会の団体から出品された1500鉢あまりの菊花が境内を埋め尽くし、菊のかおりに包まれました。大菊、懸崖、盆栽、切花などの作品はどれも目を見張る出来映え、菊人形、五重塔など趣向が凝らされた特別展示も行なわれ、また、菊の栽培方法についての相談や菊の販売も行ないました。

菊まつりの期間は七五三のお参りの時期と重なり、境内は華やかさに包まれて、マスコミにも多数取り上げられ大勢のお客様が訪れました。

新春日野七福神めぐり

市内を流れる浅川の両岸に点在する七つのお寺を巡るのが、日野七福神めぐり。住宅街の中、浅川の土手、小高い丘など、変化に富んだ道のりです。約5時間、ウォーキングを兼ねて、新年にふさわしいゆったりとした充実感が味わえます。

真 照 寺	恵比須天	日野市落川 1113	042-591-1687
高幡不動尊	弁 財 天	日野市高幡 733	042-591-0032
宗 印 寺	布 袋 尊	日野市平山 6-15-11	042-592-6699
善 生 寺	大 黒 天	日野市東豊田 2-26-3	042-581-2862
延 命 寺	寿 老 人	日野市川辺堀之内 595	042-581-0503
安 養 寺	毘沙門天	日野市万願寺 4-20-8	042-581-3624
石 田 寺	福 祿 寿	日野市石田 1-1-10	042-583-6660



これからの日野市観光協会の行事予定

たかはたもみじ灯路 11月22日(水)～23日(祝)18:00～20:00

高幡不動尊への参道を中心に、街灯などの照明が暗くされ、路上に飾られる1300個もの灯籠が、街を幻想的に照らし出します。

伸びゆく日野市写真コンクール

新選組隊士撮影会

11月26日(日)10:00～14:00

丁度見ごろを迎える高幡不動尊のもみじの鮮やかな色合いを背景に、新選組隊士に扮したモデルさんたちの魅力を捉えてください。

高幡不動尊節分福袋販売

平成19年2月3日(土)

毎年恒例の福袋販売。来年は土曜日のため早い時間での売り切れが予想されます。電話での予約販売もしておりますので確実に手に入れたい方は事務局まで。

表紙写真 日野宿本陣 (ひのじゅくほんじん)

都内で唯一残る江戸時代に建てられた本陣建物です。

今の建物は嘉永2年(1849)正月18日の大火で焼失してしまった主屋にかわるものとして建設されました。幕末に日野宿の間屋と日野本郷名主を務めていた佐藤彦五郎が本陣兼自宅として翌元治元年(1864)12月から使用された建物です。

大火をきっかけに自衛の必要を痛感した佐藤彦五郎は八王子千人同心の井上松五郎から天然理心流を紹介され、近藤周助に入門し、自宅に道場も開きました。佐藤彦五郎は卓越した技量からか4年後には免許皆伝をとっています。

この道場には、やがて近藤勇や沖田総司、山南敬助らが訪れるようになり、日野出身の土方歳三・井上源三郎らを交えた新選組と日野の人々との物語の幕が開けられたのです。まだ、この建物が完成する前のことです。

建物は文久3年(1863)4月に上棟され、翌年完成しています。同じ文久3年2月には徳川14代将軍家茂が上洛。その警護のために新選組の前身となる浪士組が京都へ向っています。この浪士組に近藤勇や土方歳三、井上源三郎、沖田総司らが参加しています。本陣の建物の準備には10年に及ぶ歳月を費やしたと言いますから本陣建設の槌音を聞きながら、同じ敷地内にあった道場ではのちに新選組になる面々が木剣の音を鳴り響かせていたことになります。

お気軽にお立ち寄り下さい

観光協会の事務局は日野宿本陣内にございます。市内の観光名所・イベントの案内や、新選組グッズ等の販売を行っております。東京観光案内窓口にもなっており、東京都内各地のガイドマップ等も豊富に揃っています。是非、お気軽にお立ち寄り下さい。

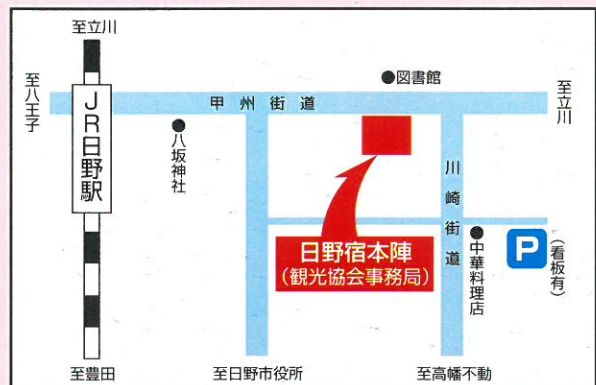
特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM～5:00PM (月曜定休)

〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9

TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961

E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

編集後記

すばらしい先輩、信頼できる仲間囲まれて刊行された創刊号。今後も紙面を充実して会員のみならず、読者のみなさまの声を反映したものにしていくよう努力していきます。(K)